

マツティアが使徒に

2022年1月16日

使徒の働き 1・12～26

序：イエス・キリストの昇天：オリーブ山

エルサレムから近い 900メートル位

ベタニアは東斜面 ルカ 24・50～51

I. 使徒たちの行動

(1)ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ／ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ／アルパヨの子ヤコブと熱心党员シモンとヤコブの子ユダ

cf. イエスの選ばれた弟子 マルコ 3・16～19

マタイ 10・2～4 のタダイは

ヨハネ 14・22 のイスカリオテでないユダ

ルカ 6・14～16

使徒 1・13 のヤコブの子ユダ

エルサレムの町に帰り、宿泊していた屋上の間に上がった

最後の晩餐

復活されたイエスが現れた

(2)ガリラヤからイエスについてきた婦人たち

(3)イエスの母マリア、イエスの兄弟たち（ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモン） マルコ 6・3

彼らは復活以前は、イエスをメシヤと認めていなかった ヨハネ 7・5

ヤコブに復活したイエスが現れた コリント I 15・7

” はエルサレム教会の柱の一人になる

ユダは「ユダの手紙」の記者

(1)～(3)の人々は、いつも心を一つにして祈っていた

|| 父の約束された聖霊の現れを待っていた

120名（エルサレム） ガリラヤにも他の信者がいた

500人以上に復活後現れた コリント I 15・6

II. イスカリオテのユダに替わる使徒の補充

(1)イスカリオテのユダの背信と凄惨な死について説明（知れ渡っていた）

①ユダは12弟子の一人（仲間、務めを委ねられていた）

② ” 裏切り者（イエス捕縛の手引き、敵に渡した、それ以前もずっと背信）

③ ” 主を銀貨30枚で売った ⇒ 後悔 ⇒ 銀貨を投げ打って自殺

首をつった、真逆さまに落ち、内蔵が飛び出した

④祭司長たちはそれ（ユダの不義の報酬）で、地所を買って旅人の墓地とした

||

18～19節はルカの補足

血の地所（アケルダマ）

陶器師の畑

(2) 預言の成就

- (1) 詩篇 69・25 敵の住居が荒廃に帰し、家が途絶えますように
- (2) 詩篇 109・8 敵が早死にして、その職責を他の人が取りますように
ともにダビデ詩篇
ユダの後任が任命される根拠
12人はイスラエル12部族、イエスがお定めになった人数

(3) 後任者の資格条件

- (1) 主イエスや使徒たちと常に共にいた者 (バプテスマのヨハネ～昇天)
イエスの公生涯の間
- (2) 主イエスの復活の目撃者・証人
ゆえに、使徒職に該当する者は時代とともになくなる

(4) 後任者の決定

- ① 二人を立てる (甲乙つけがたい)
- ② 主にお示しを委ねて祈る (すべての人の心を知る主がお選びになる)
いずれが、使徒として仕える奉仕者にふさわしいか?
- ③ くじで決める (現代なら選挙か?)
||
神が支配される
箴言 16・33 くじは^{ひざ}膝に投げられるが、そのすべての決定は主から
来る
- ④ くじはマッティアに当り、使徒に加えられた

III. 聖霊降臨を目前にして、主の復活の証人としての使徒団が整えられた

- (1) 神はみこころを持っておられる
- (2) 人間の側でも、でき売る限り準備をしたり、方策を練る、そして祈る
- (3) 神はそれらを通して御計画を実現なさる
- (4) ユダの背信と死と死後に関して遠回しに、明言を避けている
- (5) 使徒たちはふりかかった衝撃的な事態から逃げず、隠さず、聖書に基づいて
正面から取り組んだ。後ろに引きずられず、前に向かって主にある解決を図る
- (6) 後は、エルサレムを離れないで、約束の聖霊を祈り待ち望む